次代を担う二世会
東北パートナー会 みちのく会

全国のメジャークラブパートナー会で、次の時代を担う経営後継者の会「二世会」の活動が、活発に行われています。

今回取り上げるのは、全国二世会の中で一番新しい東北パートナー会の「みちのく会」です。2014年4月の発足以来、会長を務められている相場会長にお話を伺うと共に、メンバーから寄せられたメッセージをご紹介します。

交流の機会を増やし、自己研鑽の場として活動を

会長：株式会社相場商店
常務取締役 営業本部長
相場宏泰 氏

―2014年4月に発足したみちのく会。発足に至ったきっかけをお聞かせください。

みちのく会発足のきっかけは、2013年2月の第1回大陽日酸メジャークラブ二世会全国大会に参加したことです。当時、東北地区に二世会は無かったのですが、ぜひ参加をとお声掛けいただき、仮称「東北二世会」として参加させていただきました。そこで、メジャークラブが全国的に二世会の活動を活発化させているという話を伺い、東北地区にも二世会を作ろうという流れになったのです。

「みちのく会」という名称は、一目で東北地区の会だとわかるように、と決めたものです。発足当時の会員数は私を含めて6名で、少人数でのスタートとなりました。

―相場会長は、日本酸素時代の東北二世会「日酸青葉会」のメンバーでもあったそうですが…

日酸青葉会には、2000年に入会しました。入会当初の私は36歳で、会のメンバーの中では若手でした。2004年に大陽日酸が発足した際、日本酸素時代の二世会は一度解散となりましたが、日酸青葉会は「青葉実践塾」として独立し、現在も活動を継続しています。当時は二世だった方々も、今では社長としてご活躍中の方が多くいらっしゃいます。企業人として、そして人生の先輩として色々なことを教えていただき、本当にお世話になってきました。

みちのく会には、青葉実践塾のメンバーのご子息も所属しています。みちのく会の活動を通して、私が教えられてきたことを、ご子息の皆様にも伝え、少しでもご恩を返していきたいと考えています。

―みちのく会が発足してからこれまでの活動をご紹介ください。

主な活動内容としては、年1回の定期総会のほか、研修会を年に1回開催しています。また、大陽日酸海外部の方を呼んでの情報交換会や臨時例会も開催し、発足から3年で計8回の会合を持ちました。

研修会は、主にガスの製造に関わる研究所や工場の見学を行っています。2016年11月に開催した研修会では、大陽日酸山梨事業所を見学させ

ていただき、最新の細胞冷凍装置から、事業所内の日本酸素記念館で創業当時に使用していた空気分離装置まで見ることができました。とても印象深く、貴重な経験をさせていただき感謝しています。

また、今年度から新たな試みとして、会員持ち回りでプレゼンテーションをする機会を設けました。テーマを各自で決めてプレゼンテーションを行うことにしており、会員各自のテーマ選定に頭を捻らなければなりませんのでなかなか難しいと思います。この試みの目的は、半分はプレゼン能力の向上、もう半分は会員相互の理解を深めるためです。初回となった2016年9月の臨時例会では株式会社佐藤酸素の佐藤取締役に「自分に関する事」をテーマにプレゼンをしていただきました。私は彼の父上もよく知っているのですが、情熱溢れるプレゼンを聞きながら、「血は争えない」と改めて感じましたね（笑）。

―とても活発に活動されている印象を受けますが、活動内容はどのように決めているのでしょうか。

基本的には、総会や研修会などで出た会員の声を反映しています。会員の年代は30代から50代までと幅広く、また、私を含めてガス業界以外を経験してきた方も多いので、多様性に富んだ意見交換ができます。次は何をやりたいという声も多く上がるので、企画を立てやすいですね。前述したプレゼンテーションについても、会員の声から実現した企画です。

―今後のみちのく会の活動についての展望をお聞かせください。

設立当初は、年に1～2回集まれるかどうかだろうと思っていましたが、会員同士の活発な意見交換のおかげで、予想よりも多くの機会を設けることができ、この3年で良い流れを作れたと感じています。

今後は、定期総会・研修会に加えて例会を増やし、集まる機会を年4回にしたいと思っています。二世会の大きな特長は、若手同業者かつ次期後継者という同じ立場の人とのネットワークを構築できることだと考えていますので、交流の機会は沢山設けていきたいです。ただ、集まるだけではなく、「よく学び、よく遊べ」をモットーに、互いに刺激し合って切磋琢磨しつつ、自己研鑽できる場となるようにしたいと思います。

また、難しい面もあるかもしれませんが、メンバーも徐々に増やしていきたいです。

―最後に、大陽日酸へのご要望などがございましたらお聞かせください。

全国大会のほかにも、他地区の二世会と交流する機会を増やしていただきたいと思います。例えば東日本や西日本といった単位での集まりの場を設けるなど、交流の場を広げることで新たな刺激も受けられると思います。

みちのく会は今後も活発な活動を続けていきたいと思いますので、今後ともご支援・ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

大陽日酸メジャークラブ 東北パートナー会 次世代経営者交流会「みちのく会」

大陽日酸 東北支社長
坂本雅博

東北パートナー会の次世代経営者交流会である「みちのく会」は2014年4月の設立総会をもって6名の会員で発足しました。

前身の二世会である「日酸青葉会」は1982年に設立され、研修会等活発に活動されたのちにその役目を終えましたが、現在は当時の会員を中心に「青葉実践塾」として研鑽の場を設け活動を行なっております。

「みちのく会」におきましても設立後3年という短い期間ではありますが、各所液生産工場、弊社山梨事業所の見学研修会の他に弊社海外展開講習会、最近はプレゼンテーションを行なう研修会等も実施して精力的に活動されております。

6名と少人数ではありますが、少人数ならではの自由闊達な意見交換と円滑な会の運営につながっているのではないかと思います。

今後とも互いに研鑽して「みちのく会」を有意義なものにしていただけるように弊社もともに歩んでいきたいと思いますのでよろしくお願い致します。